

## 古賀志山の古道を辿る～三瀧三窟めぐり

「古賀志には過ぎたるものが三つあり。背戸の御山に三滝・三窟」と謳われた。

令和4年9月25日（日）、宇都宮市森林公園自然休暇村管理センターが主催した「古賀志山の古道を辿る～三瀧・三窟めぐり」に応募された市民30名が参加して行われた。前日の大雨も上がり当日は天候に恵まれた。市南駐車場に集合、先ず、古道「湯殿大権現道」を辿り大日窟へ。大日窟では「東の穴」の不動明王坐像を拝観、続いて女瀧へ。岩下道をトラバースして弁天窟へ。続いて女瀧へ、最後は男瀧の懸る権現窟の瀧大権現（現瀧神社）へ。近くの聖観音を拝願して昼食休憩。



参加者30名にとって今回の古道めぐりは未知の世界であった。古道の「湯殿大権現道」も「瀧馬場通」の存在すら知らず、三瀧の存在も三窟に祀られた神仏も未知の世界であった。古賀志山の別の魅力を知る良い機会であった。

サポーター

岩田雄一、奈良忠男、平野昭夫、大出忠、藤沼力  
村田鉄三、池田正夫